

笑利！求利！

令和7年5月13日
【第2号】

「楽しむ！」を恐れないで

3年生は、来週の月曜日からいよいよ関西方面への修学旅行に出発します。3年生の皆さんには、思い切り楽しんで、忘れられない思い出を作ってきてほしいと思います。

ところで、この「楽しむ」ということについて、どうも日本人は昔からネガティブな考えを併せ持っているように思います。「楽しむ」という言葉を使用する際にはよく、「自分だけが楽しければ良いのか？」という指摘が併用されますよね。まず周囲への配慮や規律を守り、その枠内で「楽しむ」ことを求められているような…。

極論、私は、「100%楽しめるなら自分最優先で楽しめばよい」と思っています。この「100%」ということが大事です。100%、完全無欠に「楽しむ」ためには、必然的に周りへの配慮が必要になってくるからです。

だって、自分が何かを楽しむことによって、他の誰かが嫌な思いをしたと後で知った時、あなたはどんな気持ちになりますか？「悪いことしたな…」とか、「やりすぎちゃったな…」という気持ちになりますよね。すると当然、そこに100%の満足感は得られないでしょう。つまり、「100%楽しむ」ためには、そのことが終わった後のこともしっかり考える必要があるわけです。

もちろん、大前提として、「楽しむこと」と「勝手なこと」は全く違います。むしろ「楽しむこと」の中に少しでも「勝手なこと」の要素が入り込んでくると、「100%楽しむ」ことは不可能になるのではないのでしょうか？それこそ一時世間を騒がせたバイトテロがその後どんな顛末をたどったか、言うまでもないですよ。

大切なことは、周囲の顔を伺いながら、その枠内でやれることをやる、与えられた条件の中で「楽しませてもらう」という考え方ではなく、自分が楽しみたいことを100%楽しむためにはどうすればよいかという「自分から積極的に楽しみにいく」という姿勢ではないかと思います。その中で自然とやってよいことといけないことの規準を自分で考えられたら文句なし！皆さんは是非この「100%楽しむ」ことを躊躇しなくてももらいたいと思います。

5月3日、埼玉スタジアム2002で吹奏楽部の生徒たちが「ハートフルコンサート」を行い、サッカーの試合に訪れた多くの観客がその演奏に足を止め、聴き入ってくださいました。30分のステージを2回。ゴールデンウィーク後半の初日、初夏を思わせる暑さの中でしたが、生徒たちは皆楽しそうでした。そして、足を止めて演奏を聴いている観客の方たちも皆笑顔でした。「100%楽しむ」とは、きっとこういうことなんだろうなと思います。自分たちが楽しむことで周囲の人々も楽しく幸せな気持ちにさせる…、こういう人間関係っていいなと思います。

「自分が楽しければいい」。この言葉に「100%」という言葉をつけ加えて考えるだけで、自分から楽しさの海にダイブするようなワクワク感が生まれてくるような気がします。生徒の皆さんもそれぞれの「100%」な楽しみ方を見つけてみては如何でしょう？



埼玉スタジアム2002で行われた「ハートフルコンサート」。大勢の方に大原中の演奏を聴いていただきました！